

SAKAWA

佐川町移住定住ガイドブック

Style

佐川町の情報が満載!

町関連SNS

Instagram



team_sakawa365

高知県佐川町のまじめに、
おもしろい365日

高知県佐川町(さかわちょう)
公式アカウント。"まじめに、
おもしろい"まちの様子を
発信しています。



sakawa.kyouryokutai

高知県佐川町
地域おこし協力隊

地域おこし協力隊の活動
について発信しています。

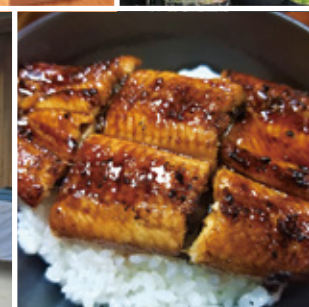
発行月 2022年4月
発行元 佐川町まちづくり推進課
〒789-1201高知県高岡郡佐川町甲1650-2
0889-22-7740
sk02010@town.sakawa.lg.jp



SAKAWA

佐川町移住定住ガイドブック

Style



▶佐川町について	03
▶佐川地区中心エリア	04
▶移住者インタビュー (STYLE 01)	05
▶移住者インタビュー (STYLE 02)	07
▶移住者インタビュー (STYLE 03)	09
▶子育て支援情報／教育情報	11
▶住居情報	12
▶おすすめスポット紹介	13



コンパクトな町で、 便利でのどかな田舎暮らしを

佐川町は高知県の中西部、高知市の西方約26Kmに位置した温暖湿潤な盆地上の町です。

5つのエリアからなるこの町には、それぞれの地域で異なった風景や文化があるのが特徴であり、

棚田や茶畑など懐かしい風景を残しながら、病院や学校、文化施設、スーパーなども揃うコンパクトタウンで、便利な田舎暮らしを楽しむことができます。

あなたに合ったエリアやスタイルを探してみませんか？

買い物スポットが豊富！

町内にはスーパーマーケットが3軒、ホームセンターが2軒、ドラッグストアが3軒あり、その他にも大型電機店やキャリアショップ、100円ショップやファッションセンター、コンビニもあり、町内だけで生活に必要な買い物が完結できます！

アクセス抜群！

佐川町は高知市中心部まで車で約40分、JRの特急列車1本で約30分と程よい距離にあります！（高知市内に通勤している人も多い！） また、町内にJR土讃線の駅が5駅もあり（高知県ではすごい！）、運転免許がない方にも、安心です。

医療が大変！

救急対応の総合病院が2ヶ所、歯科医が3ヶ所、眼科皮膚科、耳鼻咽喉科、こどもクリニックや診療所もあり、近くで受診できるのも魅力！



学校

●保育所	7
●小学校	5
●中学校	3
●高校	1

商業施設

●スーパー	3
●コンビニ	3
●ホームセンター	2
●ドラッグストア	3

病院

●診療所	2
●病院（救急）	2
●小児科	1
●歯科	3
●眼科・皮膚科	1
●耳鼻咽喉科	1

金融機関

●郵便局	5
●銀行	5

公共施設

●図書館	1
●文化ホール	1
●運動施設	3
●健康福祉センター	1

自転車で行ける距離で生活に必要なものがほとんどそろいます！

▶移住者インタビュー

Style
01

営業職から自伐型林業家へ

林業に
“担い手”として
携わっている
使命感があります！



Profile
.....
村澤 友輔さん
職業：自伐型林業
出身：神奈川県
年代：20代
家族：夫婦2人

林業とものづくりを両立させる ライフスタイルを目指して

営業の仕事をして3年が経ったころ、会社の働き方が肌に合わないと思い転職を考えるようになり、いろいろ調べていく中で一次産業に興味を持つようになった村澤さん。

横浜市出身で畑や山とは縁遠い環境で育ったので、自然の中で働くということがすごく魅力に感じたのだそう。そんな時にインターネットの求人メディア「日本仕事百貨」(shigoto100.com)で佐川町の協力隊募集情報を見つけました。卒業後は、雇われるのではなく個人事業主として独立、という働き方に可能性を感じ、すぐ役場に連絡し佐川町を訪問しました。

町を訪れ、役場の担当職員に一日かけて林業の現場見学や移住相談に応じていただき、夜は協力隊の卒業生が食事に連れて行ってくれました。一日を通して触れた町や人の温かさが自分の肌に合うと感じ、移住を決断しました。

佐川町の地域おこし協力隊は、町の会計年度任用職員という立場で、最長3年間週4日の勤務に従事します。林業では、重機を操縦したりチェーンソーを使ったりしますが、これらに必要な技術や資格については、自己負担なく取得できます。協力隊メンバーは林業経験者より初心者が多いのですが、資格取得や外部講師の教えを吸収して、1人前の自伐型林業家として成

長していきます。この春3年の任期が満了した村澤さんですが、今でも毎日学ぶことが多く、新鮮で充実した生活を送っているとのこと。卒業後は、町からの施業委託を受け、地域の皆さんの山を整備していきます。

またプライベートでは、協力隊同期メンバーと、特殊伐採を通して地域のお困りごとを解決するユニット「ringin」として活動する他、高知で出会い結婚された奥様とともに、ものづくりユニット「いちとじゅう」として、草花と山で採れた木などを組み合わせた自然素材の小物や雑貨、ディスプレイ作品を制作しています。今はまだ始めたばかりで手探りの状態ですが、ネットやSNSを活用したり、ワークショップなどを開催して、徐々に活動の幅を広げていっているところです。ゆくゆくは山での仕事をしつつ、ものづくりも並行してやっていける様なバランスでのライフスタイルが理想だそうです。

自伐型林業は、自分のスタイルに合わせて兼業できることが、従事するうえでのメリットの一つなので、ぜひご自身に合う働き方を探してみてください。



「ringin」としてのお仕事の様子



「いちとじゅう」の作品

☑佐川町インフォメーション

自伐型林業について

自伐型林業は、チェーンソーと小型重機、積出用のトラックがあれば始められる低コスト林業で、地域のリタイヤ世代や移住者などの就業ハードルが低く、新たな雇用機会の創出につながることが期待されています。

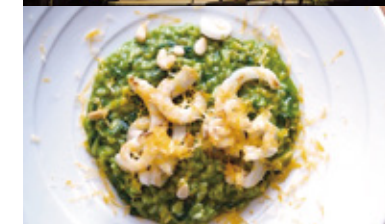
佐川町の自伐型林家は、基本的には兼業スタイルの方がほとんどで、農業の閑散期に林業をされる方や鮎釣りを楽しみながら林業をされている方など、多種多様なライフスタイルの林業従事者がおり、町としてもこのようなスタイルを推奨しています。

【お問い合わせ】
産業振興課 林業振興係
Tel:0889-22-7724

佐川町 自伐型林業



佐川町ライフのここがオススメ！



自然イタリア料理 da zero(ダゼロ)

佐川町にある自然派本格イタリアンのお店。移住者のご夫婦が営業されている。食を通して未来に繋ぐ事業を目指し、食の安全、安心、食卓の暖かさを提供。食材は出来るだけ地元または近郊の生産者の顔の見える食材を使用している。

【TEL】0889-20-9603
【住所】高岡郡佐川町丙3051
【営業】11:00～15:00(L.O14:00)
17:00～21:00(L.O20:00)
【定休日】火曜、水曜日、不定休

▶移住者インタビュー

Style 02 自衛官からいちご農家へ

田舎が好きな自分には
最高の環境です！

Profile

徳弘 跳一郎さん

職業：いちご農家(研修生)

出身：高知県

年代：30代

家族：父親・子ども2人

前線で人々を守る立場から、 食で人々を支える立場に

もともと県外で自衛官として勤務されていた徳弘さん。

日々、仕事をしていく中で、次第に第一産業に携わりたいという思いが芽生え始め、その中でも自分のやりたい方向性を農業に絞ります。

そして、自身の周りに農業知人もいない中、未経験の自分がやっていけそうな作物のこと検討した末に「いちご」に思い巡りました。

そして、実家があった高知県で「いちご農家」と検索すると、高知県内でいちごの新規就農者を募集していることを知ります。

お仕事の休暇を利用して、まずは実家から比較的近い佐川町を訪ねました。町役場を訪れ、佐川町への移住事情や子育て、農家の生計などについて詳しく聞きました。また町内の“いちご部会”の方々と交流し、その人たちの雰囲気が自分の気質に合うと感じたことから、佐川町への移住を決断しました。

佐川町では「産地提案書」(各産地・地域が就農までの流れや支援体制などを明記し、県内外から新規就農者を募集するもの)に沿って、いちご農家を募集しており、関係機関が研修から就農までを総合的に支援してくれます。その支援を受けるために、役場や農業普及所のスタッフと何度かの面談を経た後、無

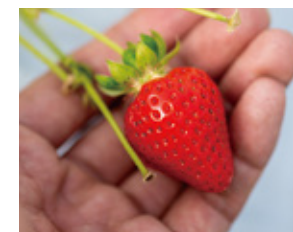
事サポートを受けられることが決まりました。

現在は、移住促進住宅に居住し、研修生として佐川町内のいちご農家で実地研修を受けています。

「毎日が新鮮で楽しいです。農業は肉体的にキツイ仕事と云われがちですが、自分は前職が自衛官だったこともあり、まだまだもっとやれるぞと言う気持ちです」

農家には定休日が無く、雨天時や仕事の作業具合をみて休みをとる形ですが、休日が家族とかぶれば一緒に高知市内にショッピングや車ですぐの仁淀川沿いにキャンプに行くことも。

子どもたちは自然豊かな佐川ライフを楽しんでおり、これからは安心して佐川のいちご作りに携わっていけると感じているそうです。



✓佐川町インフォメーション

トクヒロさんも
利用されました！

いちご農家への就農サポートについて

佐川町は、高知県下でもトップのいちご産地です。上品な甘さと実の大きさがとても魅力のある特産品であり、品評会においても高い評価をいただいています。また、県外のファンも多く、人気の高い特産品です。現在、いちごの生産者が減っている状況から、佐川町のいちごと一緒に盛り上げてくれる新規就農者を募集しています。佐川町担い手育成総合支援協議会が窓口となり、プロとなるための後押しを産地全体で行います。ご相談等がありましたらお気軽にお問い合わせください。

【お問い合わせ】

産業振興課農業振興係

Tel:0889-22-7708

佐川町 いちご農家



募集の詳細につきましては、佐川町のHPに掲載している「産地提案書(PDF)」をご覧ください。

佐川町ライフのここがオススメ！



ランニングコース

町内にはランニングに最適なコースがいくつもあります！



町内には自然がいっぱい!!

町内の各所にリフレッシュできるアウトドアスポットがあります。

▶移住者インタビュー

Style
03 都会暮らしから田舎暮らしへ

「ほどよく田舎で、
周りの人は親切で、
とても居心地の良い
暮らしができています」



Profile
.....
上川 慎也さん / 夏希さん
職業：地域おこし協力隊(慎也さん)
アルバイト(夏希さん)
出身：夫婦ともに大阪府
年代：30代
家族：夫婦+子ども1人

子育てをしながら感じる さかわの町の魅力

夫婦ともに大阪出身で、結婚後は兵庫県神戸市に住んでいた上川さん夫妻。奥様の夏希さんが見つけた佐川町地域おこし協力隊（さかわ発明ラボ）の募集をきっかけに、佐川町での体験会に参加、町の雰囲気の良さも相まって、スムーズに移住を決定しました。その後慎也さんはさかわ発明ラボ（ものづくり施設）のスタッフ、夏希さんは食を活用した観光振興担当の地域おこし協力隊として採用されました。

夫婦2人で移住されましたが、移住後に妊娠出産を経験され、現在は子育てに奮闘する毎日を過ごしています。コロナ禍の中はじまった子育てでしたが、都会と違って屋外でのびのびと育児できる環境に安心感を感じています。（ちなみにオススメのスポットは牧野公園とのこと）

近くに頼れる家族や親戚がいない中での子育てに苦労されることもあるそうですが、町内の保育所は待機児童が0なうえに、保育士さんがとても親切に対応してくれ、心強いとおっしゃっていました。また小さな子どもを連れての外出は難しいですが、町内には、スーパー・ドラッグストア・学校・病院が揃っていて、生活を町内（車で10分圏内）で完結させることができ、不便がないのも子育てしやすい環境の一つのだと語ってくれました。

現在は町内の民家を購入し、町補助金を活用して自ら耐震設計やDIYを行ったセンスが光る空間で暮らしています。引っ越してきた直後から地域の人たちが「困ったことがあれば何でも言ってね」と声をかけてくださり、道を歩いているとすれ違う地域の皆さんが挨拶をしてくれ、佐川町の人の温かさを日々実感しているようです。

将来的に慎也さんは設計事務所をしながら、自宅を更に改装して古民家改修のモデルハウスにしたいと考えられており、夏希さんは「暮らしの雑貨店（佐川町に縁のある作り手の商品や食と住まいにまつわるもの等）」を開きたいと計画されています。

佐川町のおすすめポイントは、野菜や果物が美味しいことで、特にトマトや新高梨は、今まで食べてきたもののなかで一番美味しかったとのこと。保育所のおやつにも、地元で採れた苺や牛乳が出ているようで、娘さんもすくすく元気に育っています。



慎也さんが子どもの頃から飼われている愛亀

✓佐川町インフォメーション

どれも美味です!!

佐川町ふるさと寄附

返礼品には佐川町の美味しい食べ物や、木工商品が数多くラインナップされています。ご家庭での使用はもちろん、贈り物にしても喜ばれるものばかりです！

ふるさとチョイス

<https://www.furusato-tax.jp/city/product/39402>



上川ファミリーも大絶賛の佐川
町産野菜や果物が返礼品として
届きます。

佐川町ライフのここがオススメ！



暮らしやすい適度な田舎感

家の周りには田畑が多く、子どもが外で自然を感じながら遊ぶにはもってこいです。親切な方が多いですが、距離感が近すぎるということはなく適度で、お裾分けをいただくこともあります。町内には生活必需品を購入できるお店がいくつもあり、田舎すぎることもないです。



野菜や果物が美味しい

佐川産のトマトは味が濃く、果実は天然の甘味が凝縮されていて美味しいと県内外でも評判です。

子育て支援情報

佐川町子育て支援情報サイト『さくらさいたねっと』

<https://sakawa-kids.jp>



待機児童ゼロ！

町立2所・私立5園の7つの保育所があります。それぞれの保育所が、特色をもった保育を実施しています。中途入所の場合を除き、待機児童はありません。

子育て支援センターの充実

親子で遊んだり、親同士で交流したり自由に過ごすことができる「なかよしひろば」。親子ヨガやファーストスブーンづくりをはじめ、定期的にワークショップを開催中。

木のおもちゃをプレゼント

佐川町の赤ちゃん全員に、佐川町産木材を使用したオリジナルの木のおもちゃをプレゼント。



給食費が無料！

保育所(園)では、3歳以上の副食費が無料。佐川町内の小中学校では給食費が無料です。

さかわ・まみいヘルパー訪問事業

妊婦さんや産後6ヶ月までのお母さんの家事をヘルパーさんがお助けします。食事づくりや沐浴、買い物など子育てのプロが手伝います。(1時間500円)

佐川町新婚生活応援事業

佐川町では、結婚に際して新居となる住宅の購入費や家賃、引越しなどにかかった費用を補助します。(1世帯あたり30万上限)

不妊治療費の一部助成

県の不妊治療費補助金の交付決定を受けている方が対象で、助成対象経費から県補助金の交付額を差し引いた額を助成します。

15歳まで医療費無料

乳幼児・児童が健やかに成長するように、町内に住民登録のある15歳になった最初の3月末日までの乳幼児・児童の医療費を助成します。

保育料の減免

佐川町では子育て支援として保育園、幼稚園、認定こども園等へお子さんが2人以上同時入所されている場合は第2子以降の保育料が無料になります。

教育情報

佐川町では教育環境の整備にも力を入れています。そのひとつが「さかわ未来学」。ふるさと力、人間力、未来創造力の3つの力を育てる町独自のカリキュラムと教材を開発し、学校現場で子どもの力を伸ばす取組みを実施中です。



ロボット動物園

葉っぱや木の実などの自然物を使ってロボットを「デザイン」し、光る・動く・鳴るなどの動きを「プログラミング」で制御して、オリジナルのロボット動物をつくる授業。(ロボットの土台には、町産木材を活用)



ふるさと教育のオリジナル教材 サカワーク

町の歴史や偉人、仕事や文化についてワクワクしながら学んでもらいたいという思いを込めた副読本。デジタル版もあり！町内の小中学生は、この副読本を使って、ふるさと佐川町について学んでいます。



木育

町内で活躍する林業従事者に、ものづくりや施業地見学を通して、森林環境や林業という仕事を教わる授業を行っています。まちやまちで働く人のことを知り、ふるさと愛を育むことを目的としています。

住居情報

佐川町では、お試し滞在から定住支援まで各ステップに応じたサポートを行っています。お家や仕事を見つけないという時はぜひご活用ください。



佐川町お試し滞在施設

移住を考えている方を対象に3日-1か月間滞在できる「お試し滞在施設 さかわ荘」を準備しています。家財道具や調理器具が一式備えており、最長1ヶ月さかわ暮らしを体験していただけます。(利用料 5,000～20,000円)
<https://www.town.sakawa.lg.jp/life/dtl.php?hdnKey=1443>



佐川町移住者住宅改修費等補助金

移住者又は移住者に住宅を提供しようとする者が空き家を利用する場合に、空き家の耐震化とリフォームする場合の費用を10/10以内で補助します。
補助上限額 270万円(耐震化を図ることが条件)

佐川町移住促進住宅

佐川町への移住又は定住を検討している方が最長3年間利用可能な移住促進住宅をご用意しています。この住宅は、佐川町へ移住される方が新しい生活を始めるための準備をする間、入居できる賃貸住宅(一戸建て)です。

住宅耐震改修費補助金

住宅の耐震改修工事を施工される方に費用の一部を補助します。

佐川町空き家利用促進補助金

移住者の住居に供する空き家の荷物整理や処分をする場合の費用を補助します。(補助上限額 10万円)

空き家バンク

『佐川町空き家バンク制度』は、空き家の売却・賃貸を希望する所有者からの情報を、佐川町へ移住・定住を目的とした方へ紹介するための制度です。
<https://www.town.sakawa.lg.jp/life/dtl.php?hdnKey=1336>



佐川町へ地域おこし協力隊として移住される方には、町が管理している地域おこし協力隊向け住宅の紹介や、家賃補助金(単身:家賃上限4万円、駐車賃5千円/世帯:家賃上限5万円、駐車賃1万円)を交付しています。

奨学金の返還支援

佐川町では、奨学金を利用して進学した方が地元に戻ってきやすい環境を整えるため、また、UターンやIターンなど若者層の佐川町への定住、就業を促進するため、令和4年度より奨学金返還支援事業を実施します。

助成額
(上限) **24**万円
(年額)

助成期間
(上限) **8**年間

〈対象奨学金〉
日本学生支援機構の奨学金(第1種及び第2種)、佐川町奨学金

対象者や申請時期、申請に必要な書類等詳しいことは、下記までご連絡ください。
佐川町ホームページからもご確認いただけます。

【お問い合わせ・申し込み】

☎0889-22-1110
(佐川町教育委員会 学校教育係)



おすすめスポット紹介



牧野公園

佐川のまちを一望できる牧野公園は、昔から桜で親しまれ、「日本さくら名所100選」にも選ばれている。
今では地域住民が種から育てた苗を植栽し、一年を通して四季折々の山野草の豊かな表情が楽しめる公園となっている。
<https://sakawa-machimaru.jp>



牧野富太郎ふるさと館

牧野富太郎の生家跡地に建つ資料館。展示室では、博士の遺品や直筆の手紙、原稿等を展示している。
【開】9:00～17:00
【休】月曜日（※祝日の場合は開館し、翌日休館）
【問】0889-20-9800 【料】無料



佐川地質館

化石の宝庫「佐川盆地」をはじめ、県内の地形・地質を紹介。四国4億年の歴史や珍しい化石のコレクションを展示。地球と生命の歴史を色々な角度から楽しく学ぶことができる。



ナウマンカルスト

佐川町を地質のメッカとして世界に広めた地質学者エドモンド・ナウマンにちなみ設けられた公園。巨大なナウマン象のオブジェと羊の群れのような石灰岩が谷間を覆う。



青山文庫

幕末維新関係の資料や、江戸時代に佐川の領主であった深尾家の資料などを展示している貴重な歴史資料の宝庫。
（※館内撮影禁止）



さかわ発明ラボ

デジタル工作機器が利用できるものづくりスペース。子ども向けのものづくり教室「放課後発明クラブ」を開講している他、スタンプやキーホルダー等工作体験ができる。



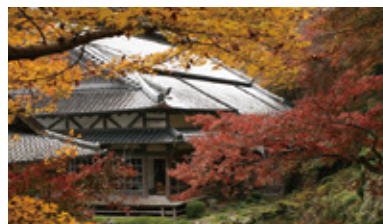
五位山緑地公園

約100メートルのローラー滑り台やフィールドアスレチックなど体を思いっきり動かすと、心が柔らかくなる。



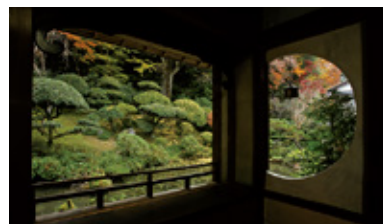
龍王公園（たこ公園）

通称・たこ公園。国道494号斗賀野のトンネル北入口近くにあり、子供たちに大人気の「たこ」の滑り台が目印。



青源寺

佐川の領主であった深尾家の菩提寺。県指定名勝。禅寺の風格を持った簡素さが特徴で、春は桜、秋は紅葉の彩りがとても美しい。



乗台寺

佐川最古の寺院。江戸時代には領主・深尾氏の祈願寺と定められた。青源寺庭園と並び土佐三名園の一つである。（県指定名勝）



旧浜口邸

国登録有形文化財。江戸中期より酒造業を営み栄えた浜口家の住宅。現在は、さかわ観光協会が地元のお土産販売や古民家カフェを運営している。

